1 日目

ワークショップ①「共通基盤の創造」

ワールド・カフェ・ダイアログ

KeyNote 講演「ファシリテーションのタオ」

中野民夫氏

ワークショップ②「参加者の創るダイアログ」

Open Space Technology

課外活動

会場内では休憩時間と“飽き”時間を利用して、

自ら参加し創り上げる「課外活動」を実施しています

KeyNote 講演者 / 分科会座長者プロフィール

渋谷聡子　Satoko Shibutani　ダイアログ・アーツ代表、
組織開発コンサルタント
株式会社ペネッセコーポレーションにて、
進研ゼミ中学講座の指導員育成マネージャーを経て、
e- ラーニング新規事業を立ち上げる。現在は、
「真の対話で人と組織の力を呼び覚ます」をテーマに、経営者、政治家、
アスリートなどに対する 1 対 1 セッションを実施。また、組織に対して、
神話や文化・社会形成の原理に関する研究を適用し、対話（ダイアログ）を
中心とした組織開発コンサルティングを行う。
CPCC (Certified Professional Co-Active Coach)、
米国 CTI 認定プロフェッショナル・コーアクティブ・コーチ

中野民夫　Tamio Nakano　ワークショップ企画プロデューサー ＆ 会社員
1957 年東京生まれ。東大卒業後、広告会社に就職。 7 年目で休職し
カリフォルニア統合学大学院（CIIS）に留学。組織開発・変革や
ファシリテーション、ディープエコロジーなどを学び帰国。復職し、
人材開発や企業の社会貢献、NPO/NGO をつなぐ仕事などに従事。
愛地球博（2005 年）では「地球市民村」を企画・プロデュース。
Be-Nature School ファシリテーション講座の監修・講師。
社団法人日本環境教育フォーラム理事。
明大、立教大学院、聖心女子大兼任講師。
【著書】「ワークショップ（岩波新書）」
「ファシリテーション革命（岩波アクティブ新書）」
【共著】「自分という自然に出会う」（講談社）「持続可能な教育と文化」
（日本ホリスティック教育協会）

マエキタミヤコ　Miyako Maekita　サステナ代表　http://www.sustena.org/
1963 年東京生まれ。コピーライター、クリエイティブディレクターとして、
97 年より、NGO の広告に取り組み、02 年に広告メディアクリエイティブ
[サステナ] を設立。「100 万人のキャンドルナイト」呼びかけ人代表、
HYPERLINK “http://www.hottokenai.jp/”「ほっとけない 世界のまずしさ」
キャンペーンアドバイザー。上智大学、立教大学非常勤講師。
最近は、「フードマイレージ」キャンペーンや、「リスペクト・スリーアール」
プロジェクトを手掛けている。
【著書】「エコシフト (講談社現代新書) 」
「でんきを消して、スローな夜を。100 万人のキャンドルナイト」
（マキノ出版）【共著】「世界から貧しさをなくす 30 の方法」
（合同出版）

小田理一郎　Riichiro Oda　（有）チェンジエージェント　代表取締役、
環境ＮＧＯジャパン・フォー・サステナビリティ
ゼネラル・マネージャー　http://www.change-agent.jp/
オレゴン大学経営大学院経営学修士課程修了。
人や組織が自律的に目的を達成する効果的な仕組みを作るため、
組織変革のスキルを学んだ後、多国籍企業で 10 年間、
製品責任者・経営企画室長として組織変革の実務にあたる。
その後、米国で法人を設立し、企業の社会的責任 (CSR)、
非営利組織マネジメントの分野でコンサルティング活動を手がける。
2005 年にチェンジ・エージェントを設立。
主にシステム思考と学習する組織を中心に、組織向けの研修・
コンサルティングを手がける。2008 年 1 月に SoL ジャパンの
共同設立発起人としてピーター・センゲ氏を招聘したシンポジウムを開催。
【共著】『なぜあの人の解決策はいつもうまくいくのか』
（東洋経済新報社）

桑原香苗　Kanae Kuwabara　PWI 認定プロセスワーカー 、
IAPOP 認定プロセスワーカー www.kanaekw.net
1963 年東京生まれ。日本文学の修士取得後、政府間協力の一環として
インドネシアの大学で日本語教育に従事。かたわらジャワ宮廷舞踊を学び、
個人のこころとからだの多様な結びつきが同時に人間関係や組織、
地域文化や国家間の葛藤などと多層的に関わることを経験。
それら全体を一つのシステムとして扱い、豊かな体験と学びを生み出す
手法としてプロセスワーク（プロセス指向心理学）に出会い、
米プロセスワーク研究所 PWI にてプロセスワーク修士及びディプロマ
（臨床能力の認定）取得。現在、日本プロセスワークセンター www.jpwc.jp
トレーニングディレクターおよび PWI 教員、江戸川大学講師、
心理面接室カフェ香庵主宰。また精神科にて心理臨床および組織改革に携わる。

田仲薫　Kaoru Tanaka
02 年から広告会社に勤務。ブランドコンサルタント・
グラフィックデザイナー・作曲家として、ＣＩデザイン、
五感デザインから組織変革など、国内外の企業・商品ブランドの
幅広い領域でお手伝いを。近年は、米 IDEO 社との協働チームの
中核メンバーとして、エスノグラフィ手法を用いた
デザイン・シンキング発想のプロジェクトを実施。
2008 年度 EPIC（米・人類学会主催の応用エスノグラフィに関する国際会議）
にて IDEO とワークショップ座長を務める

やまざきゆにこ　Yunico Yamazaki
グラフィックファシリテーター　http://www.graphic-facilitation.jp/
様々な議論の現場で、グラフィックファシリテーション
（＝グラフィックレコード + グラフィックフィードバック
+ グラフィックダイアログ）を実施する。300 人超のシンポジウムから、
企業も国籍も違う参加者の集まる研究会、組織を横断したプロジェクト、
経営者・リーダークラスのビジョン研修、組織研修、顧客との協働プロジェクト
など多岐に渡る。企業・組織の事業判断・意思決定、プロジェクトや個人の
意識・行動変革の一助になればと“絵筆を持って”活動中。
※グラフィックファシリテーター（graphicfacilitator）は、
やまざきゆにこの商標登録です。

私たちは“今”何を始めればいいのでしょう？

誰かの望む未来から“私”たちの望む未来へ。
１人１人の心が響き合う対話のプロセスには、
持続可能な未来へ続く可能性があるはずです。
ダイアログと呼ばれる対話には、そんな
失われた会話のエッセンスがつまっています。

未来を創るワークショップ 2009

SUSTAINABLE FUTURE with DIALOGUE

ダイアログ（対話）を通じて
持続可能な未来を創り出す 2 日間

この 2 日間では、組織開発と社会変革の
哲学と手法をもとに、2 人の“鍵”となる
ゲストの講演と 3 つの“共創的”な
ワークショップ、そして 4 つの“新たな視点”
を通じて未来へのプロセスを生み出す。
今までにない、新しい組み合わせと可能性を
描いてみました。正解のない世界で、
みなさんのダイアログが創り出す可能性を、
ぜひ会場で体感してみてください。

2 日目

KeyNote 講演「社会ムーブメントと一人ひとりの力」

マエキタミヤコ氏

分科会

「神道とダイアログ：日本の源に宿る「神話的時間」を生きる」 渋谷聡子氏

「プロセスワーク－問題から未来を創りだす－」 桑原香苗氏

「システム思考で考える－変革を生み出す新たな視点－」 小田理一郎氏

「カタチカ－関係性の中でのデザイン」 田仲薫氏

ワークショップ③「未来を創るダイアログ」

ワールド・カフェ・ダイアログ

BankART 1929 Yokohama
〒231-8315
横浜市中区本町 6-50-1
（横浜みなとみらい線
「馬車道駅」1b 出口直結）

開催日時　**2009 年 1 月 17（土）、18（日）10：00 ～ 17：30**

参加費　20,000 円／人　（2 日間の昼食代込）

定員　100 名

申込方法　以下の受付メールアドレスまで、必要情報をお送りください。

［受付メールアドレス］sustainablefuture2009@yahoo.co.jp

［必要情報］1. お名前　2. ご所属　3.Your Work　4. メールアドレス

5. 連絡先電話番号　6. ご紹介者

または以下のウェブ専用申し込みフォームから

http://www.formpro.jp/form.php?fid=39083

主催　未来を創るワークショップ 2009 企画運営委員会

共催　ダイアログ Bar